

めそ泣き出してしまふ、是等は餘程母さんの責任のある處で、おそらく温室育てにした結果であらう、もつゝ明るくのびのびとあり度いものである。悲しいかな自分は過去に検査の経験も幼児教育の経験もなく、比較對照するものがないので、之位に止む。

## 四肢の運動検査

齋 藤 興 助

本年四月入學せしむべき兒童の檢定を行つたので、其の感想を書くやうにこの御話であるから私の感じたまゝを述べさせて頂く事にする。

入學兒童に對する素質の検査は最近多くの小學校で行ふて居る。これは學級編成を行ふ材料にする場合が多いのであるが、當附屬小學校で行ふ檢定は、それとも多少趣きを異にして居る。即ち精神活動及び筋肉活動が學齡兒童として完全に發育して居るか否か、又、義務教育の研究兒童として適して居るか否か、將又お茶の水プランを實施して行く兒童として適して居るか否か等々である。これ等の點に就いて、幾人かの試験官が各々分擔された部分々々から見て行くのであるから、必ずしもこりこりな兒童のみを採用し、合格せしむるものではない。然も分擔された各部分からながめるのであるから檢定委員の目に映するものも、それ々々違ふと思ふ。私の擔當したフイジカルテストに就いて述べるならば大體、五つの見方から論じて行きたい。

其の一は、外見上、身體各部が均齊の發育をまけて居るか否かと言ふ點で、これは兩親及び其のいづれかに缺陷がある

こ自然兒童に影響する場合も、兩靨に缺陷がなくとも後天的に來る場合がある。例へば兒童の身體發育は非常に旺盛なものであるのに、幼兒期に病氣をした兒童にあつては一見して顔色が悪いとか筋肉の發育がよくない事になる。従つてやせて居るこ虚弱な感じがする。この點に引かゝつた兒童も相當見受けられた。

其の二は、兒童の運動量と活動性を検査した。これは約三間程兒童を離して置いて、紅白の鞵を十箇壁間に投げさせ、其の後で、赤い鞵を五個、白い鞵を五個早く拾はせ、この間、兒童の運動状態を見た。この仕事は一般に男兒は女よりも運動量はあり機敏ではあるが、粗暴な所がある。女兒はこれに反し運動量も少く、敏速と言ふ點が缺けて居るが、落著きはらつて居る。身體のいづれかに缺陷のある兒童は運動量も少く、機敏と言ふ事がいちじるしく缺けて居る上に落著の度を通り越して、牛の動くが如く、更に、動作の切目が確然として居ない。斯くの如き兒童は私の行つたテストの割合に少なかつた。

其の三は關節に缺陷があるが否かを調査した。これは教師が模範を示して幼兒に行はしめ、その故障を見たのである。例へば上肢を左右にあげ、關節を自由に動させたり、指を一本づゝ曲げさせたり、伸させたりさせたのである。これに就いての故障兒童は殆んど皆無言つてよかつた。

其の四は、身體のバランスがされるか否かを調査した。これには右足、或は左足だけで三間程の距離を往復させて、其の運動状態を観察したのである。兒童はこの距離を正しく片足で往復し得る。本來このバランスがされるか否かを檢するには平均臺上を歩ませて見るのが一番よいのであるが、幼兒の中に平均のきれないものがあるこ落ちる。落ちるやうな幼兒は轉ぶ。従つて怪我をする事になるので、本年に平均臺上を渡らせる事はやめさせ、こうした片足で飛びながら一定の距離を往復させる事にしたのである。幼兒の中には身體のバランスがきれないものが割合に多いこれは平素運動をよく行

つて居ないからであらう。

其の五は、精神活動ミ筋肉活動ミよく調和がされて居るか否かミ言ふ事を見た。これは其の二の運動を行はしめる場合、紅白の鞠を紅又は白ミ教師の方から指示して見たり、其の四の運動の時左の片足で飛んで行けミ命じたり、右の片足で飛べミ命じたりしたのである。紅白や左右が直覺的に頭に浮ぶ幼児は、この調査に合格するわけで、然らざるものはまつたくかまわずに、投げたり、飛んだりするのである。この點は概して無頓著であるのに驚かされた。

以上の如き方法によつてフィジカルテストを行つたのであるが、これミ連關して考へなければならぬ事は、醫師の身體検査であるが、この點は醫學の方面から論ずるのであるから言ふ事をやめて置かう。然し、附屬小學校の如き所では身體の弱なものなるべく入學をさげさせて居る。これは學校の性質上止むを得ない。そこでフィジカルテストの後、醫師の診察表を見て、まづさしつかへないものから考へて行つたのである。

## 入學檢定の所感

堀 七 藏

本年の入學志望者は昨年よりも多少多かつた。昨年は第一部女兒が四百三十三人であつたが、今年は四百五十一人であつた。また昨年第二部女兒が三百三十四人であつたのが、本年は二百九十人であつた。尚ほ第二部男兒は昨年九十人であつたのが、本年は八十四人であつた。この外に附屬幼稚園より抽籤も檢定もなく第一部に入學する女兒が二十二(附屬